



ほけんだより



令和元年7月1日

きらら保育園

看護師：高芝・松川

★プール遊びのおしらせ★

6月26日より子ども達が楽しみにしているプール遊びが始まりました。プール遊びは夏ならではの遊びです。子ども達が、安全にそして楽しくプール遊びが出来るよう、保育士も安全管理に努めていきます。ご家庭でも子ども達が楽しく遊べるように健康管理をよろしくお願いします。

《プールに入るための健康チェック》

- 朝の検温時に、平熱より高い場合は、プールの前に保育士が再度体温を測り、プールに入れるかを判断します。
- 下痢、腹痛がある時は入れません。
- とびひや水いぼなど伝染性の皮膚の病気がある時は入れません。
- 体に化膿しているような傷がある時は入れません。
- ひどい目やに・目の充血がある時は入れません。
- ひどい咳や鼻水・喘息の発作が出ている時は入れません。
- 睡眠不足・食欲不振・疲労などで体調を崩している時は入れません。
- 抗生物質などの薬を飲んでいる時は入れませんが、アレルギーの薬など医師の許可があれば入れます。
- 手足口病・ヘルパンギーナは、熱が下がり、症状が落ち着いてから入れます。
- プール熱は、治癒証明書を提出後5日経ってから入れます。
- りんご病は顔や皮膚の赤みが消えてから入れます。
- しらみの駆除を行っている間は、入れません。予防の為に毎日頃から頭髪の清潔を保ちましょう。



《子供の夏風邪》

夏に子どもがよくかかる夏風邪と呼ばれるものには、ヘルパンギーナ・手足口病・プール熱・流行性角結膜炎が主にあげられます。プール熱は咽頭結膜熱とも言われ、アデノウイルスに感染することで発症します。感染する原因としては、咳やくしゃみなどによる飛沫感染、タオルの共有や手指を介した接触感染、目の結膜からウイルスが侵入し感染することもあります。症状としては、高熱(39度以上)・咽頭炎によるのどの痛み(食事が食べれないこともあります)・白目が充血して赤くなる結膜炎などがあります。対応のポイントとしては、①突然発症し、時間と共に回復する。②回復してもウイルスは便中に排泄されるので油断は禁物です。③感染を広げないように手洗いやうがい徹底する。

《頭シラミのおはなし》

シラミは現代でも定期的に流行します。頭髪に寄生して頭皮から吸血する“頭シラミ”は不潔にしているだけが原因ではありません。子どもが無意識に耳の後ろや後頭部を無心に掻いていたら要注意です。髪の毛に卵が付着していないか、定期的にチェックしてください。見つけた場合は、職員にお伝えください。